

「2019年1～3月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

業況DI悪化も、プラス水準を維持

一般財団法人しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

1. 調査概要（調査／しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	2019年3月1日～5日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 658社
回収状況	回収数 622社（回収率 94.5%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松いわた信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 2019年1～3月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで0.1となり、2018年12月の前回調査（9.5）と比べて9.4ポイントの悪化となった。前回の10に近い水準から今回は悪化となったが、2017年9月以降7四半期連続でプラス水準を維持した。

② 2019年4～6月期の見通し

次回の業況DIは1.9ポイント悪化の-1.8を見込む。

③ 主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期	→ 次期見通し	
全体	622	9.5	0.1	-1.8	
製造業	316	13.5	-1.9	-2.8	業況DI、8四半期ぶりのマイナス水準。引き続き人手不足感は強い。
二輪車部品製造	49	17.3	-8.2	-14.3	業況DI大幅悪化でマイナス水準へ。米中貿易摩擦の影響か。
自動車部品製造	80	32.9	13.8	11.3	業況DI悪化も、9四半期連続のプラス水準を維持。受注増加に関するコメント多い。
機械部品製造	51	12.3	2.0	-2.0	業況DIは悪化も、7四半期連続のプラス水準を維持、販売価格は低下。
楽器部品製造	18	-5.6	-11.1	-5.6	業況DI悪化、マイナス水準解消ならず。原材料価格が上昇、利幅が縮小。
繊維製造	24	-8.3	-16.7	-12.5	業況DI、3四半期連続のマイナス水準、仕入高騰が収益圧迫。
製茶製造	12	-26.7	-16.7	8.3	18年6月から調査開始。お茶のシーズンへ向け売上・収益は改善の見通し。
製材製造	16	-11.1	0.0	0.0	18年6月から調査開始。消費増税前の駆け込み需要で、業況DIは改善。
卸売業	74	3.8	-2.7	-1.4	業況DI悪化、再びマイナス水準へ、仕入値上昇が収益圧迫。
小売業	58	-7.1	-15.5	-10.3	業況DI、2四半期連続の悪化。収益的に厳しいコメント多し。
建設業	69	13.9	25.0	5.8	消費増税、年度末を迎え、業況DI過去最高水準。人手不足で人材確保が難しい。
不動産業	43	17.8	2.3	-2.3	業況DI悪化も、9四半期連続のプラス水準を維持、商品物件の不足続く。
飲食・宿泊・レジャー等	25	-15.4	0.0	4.0	業況DI改善、大型イベント（ラグビー・オリンピック関連）に期待。

本件のお問い合わせ先

一般財団法人 しんきん経済研究所 / 澤柳 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場2丁目7-1 浜松商工会議所5階